ISSN 1349-7677
第 98 号
平成 27 年 7 月　1 日

図書館だより

愛媛大学図書館

http://www.lib.ehime-u.ac.jp/KANPO/

米山と蘇山展（詳細 2p）

目次

未来を創る空間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
「米山と蘇山Ｉ－愛媛大学ミュージアム改修工事完成記念展－」のご案内・ 2
二次情報データベースの変更について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
教科書展示会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
OPAC（蔵書検索）の GakuNin ログイン方法・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
IYOKAN（愛媛地区共同リポジトリ）をご存じですか？・・・・・・・・・・・ 6
学位論文（博士論文）の利用方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
高大連携図書コーナー設置のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
照明の節電について（中央図書館）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
医学部分館からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
図書館日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

未来を創る空間

愛媛大学図書館長（法文学部教授）　清水　史

真夏だというのに，なんと快適な場所があるのだろう。私はいつも時を忘れてこの心地よい場所で探しものに没頭していた。もう 40 年も前のことである。友人たちから「昨日授業来なかったけど，どうかしたの？」と聞かれることもたびたびあった。それほどにここは私にとって居心地のいい場所だったのである。

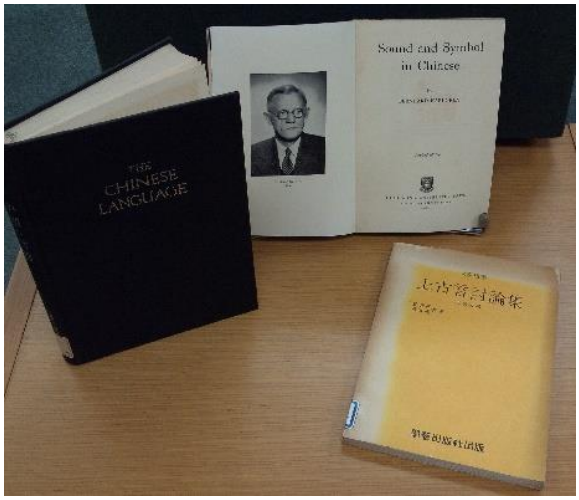
何を探していたのか，きっと未来を探していたのだろうなあと思う。そのときは，自分の好奇心を満足させるべく手当たり次第書架の本を読み耽った。見たことも聞いたこともないものがそこにはたくさんあった。本当に楽しかった。

ふとした気まぐれだったか，いつもと違うフロアーに足を踏み入れたその日，私の人生は決まってしまったのである。そこはとても静かで重厚な装いの横文字ばかりが居並んだところだった。目にとまったのは "Études sur la phonologie chinoise". Archives d'études orientales 15. 1915-1926 という本であった。スウェーデンのカールグレンという人が書いたもので，中国の隋・唐の時代頃の音（中古音）を比較言語学の方法で復元した研究書だった。

この本は，分厚い上にフランス語で書いてあってずいぶんと手こずった。苦労してなんとか読んでみた。近代ヨーロッパの歴史言語学的手法を用いて中国語研究に取り組み，漢字の上古音および中古音の音価を再構するという画期的な研究であった。ラテンアルファベットの推定音表記に慣れるのは大変だったけれど，これで万葉人の声を聞くことができるかもしれないと思ったときにはうれしくて眠れなかった。

こうして，私の学生時代は書庫とともに過ぎていった。ひとつの空間の中で知識が次第に体系化していくよろこびは，それを経験した人でなければ分からないだろう。それを可能にしてくれる未来創りの空間，大学図書館とはそういうところだと思う。

大学図書館では利用の便を図るためにいろいろな工夫をしています。みなさんからもいろんなアイデアをお聞かせください。



"Études sur la phonologie chinoise"は愛媛大学内に所蔵はありませんが，Bernhard Karlgren の著作は 8 件所蔵しています。
写真は中央図書館の書庫内にあるものです。

「米山と蘇山Ⅰ－愛媛大学ミュージアム改修工事完成記念展－」のご案内

愛媛大学ミュージアムでは，改修工事完成記念といたしまして，平成 27 年 3 月 10 日（火）から 8 月 3 日（月）まで『米山と蘇山Ⅰ－愛媛大学ミュージアム改修工事完成記念展－』を開催中です。

三輪田米山(みわだ　べいざん)が没してから 100 年以上が過ぎた今日でも，その作品の人気が衰えることはありません。愛媛大学では，過去 5 年にわたり米山展を企画してきましたが，この度，平成 27 年度からの 2 年計画で，菊川國夫（きくがわ　ときお）元愛媛大学教育学部教授所蔵作品を中心に，展覧会を開催する運びとなりました。

米山の研究者として著名な故浅海蘇山（あさみ　そざん）氏は，愛媛大学在職中に『米山　人と書』を出版され，愛媛大学図書館所蔵の『米山日記』の購入にも尽力されましたが，菊川氏は，愛媛大学在籍時に浅海氏に影響を受け，以後一貫して米山研究を継続しておられます。

会場では，菊川氏の収蔵作品を中心とした米山作品や，浅海氏の代表作である「白華山」を始めとした作品の展示を行い，米山と浅海氏，愛媛大学のつながりを示す内容としています。この機会に，是非，愛媛大学ミュージアムまで足をお運びいただき，今日の米山研究の基礎を築き，その書作に反映させた浅海蘇山氏の作品と，米山作品をご高覧ください。

～愛媛大学ミュージアムのご案内～

■開館時間

10 時～16 時 30 分

（入館は 16 時まで）

■休館日

毎週火曜日

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

大学入試センター試験日

前期・後期日程入学試験日

メンテナンス休館（2 月 1 日～15 日）

その他臨時休館有り

■入館料　無料

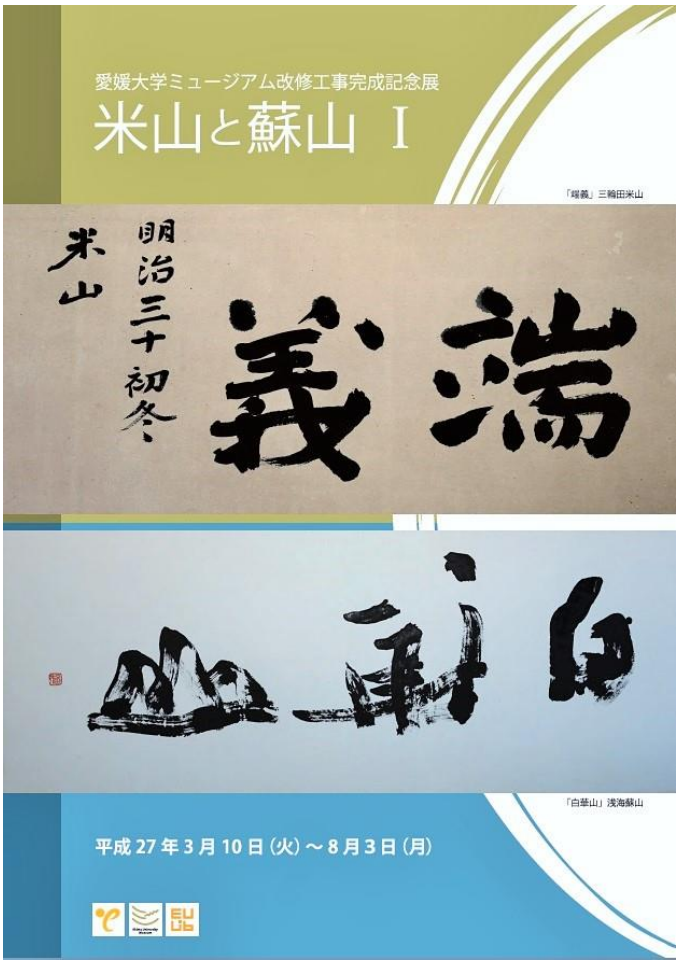
■問い合わせ先

愛媛大学ミュージアム

Tel. 089-927-8293

愛媛大学図書館

Tel. 089-927-8835



二次情報データベースの変更について

愛媛大学では，学術情報の二次情報検索データベースとしてエルゼビア社の SCOPUS を利用してきましたが，平成 27 年 4 月よりトムソン・ロイター社の Web of Science に変更になりました。

先端研究・学術推進機構の学術研究会議からの要望に基づき，大学本部及び図書館で検討を重ねた結果，二次情報データベースとして国内優位性が高く，科学研究費獲得上位 30 大学中 27 大学において導入されている実績からも，本学の先端研究を推し進めるうえで，Web of Science が，より有用なデータベースであるとの判断となったためです。

「Web of Science」は，包括的な収録範囲を誇る，世界最大の文献データベースのひとつで，論文の引用・被引用情報をもとにした検索や分析ができることを最大の特徴としており，愛媛大学では，1994 年以降のデータが利用できます。

今まで，SCOPUS を利用されてきた利用者の方にはご不便をおかけして申し訳ありません。

Web of Science をよりいっそうご活用いただくために，図書館では 7 月に下記の通り講習会を企画しました。

Web of Science講習会

日時・場所（所属学部に関係なく参加できます）

7月 8日(水)

①城北キャンパス

時間：14:30～16:00 会場：中央図書館2F/PCコーナー

②重信キャンパス

時間：18:00～19:30 会場：図書館医学部分館1F/PCルーム

7月 9日(木)

③城北キャンパス

時間：10:30～12:00 会場：中央図書館2F/PCコーナー

④樽味キャンパス

時間：15:30～17:00 会場：メディアセンター農学部分室

申し込み先アドレス

gakujutsu@lib.ehime-u.ac.jp (城北：中央図書館・サービス企画チーム)

medlib@lib.ehime-u.ac.jp (重信：図書館医学部分館)

agrlib@lib.ehime-u.ac.jp (樽味：図書館農学部分館)

開催の前日までに受講希望日時・所属・身分・氏名を明記してお申し込みください。

※PCの台数に余裕があれば当日直接の参加も可能ですが，事前申込の方優先です。

Web of Science のサポートページも活用のヒントになりますのでご参照ください。

・http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/wos/support/

インターネット講習会が不定期で開催され、過去分の資料・録音版もダウンロードできます。

ビデオガイドや FAQ も公開されています。

教科書展示会について

愛媛大学図書館は，検定に合格し採択の対象となった教科書見本を展示する教科書センターに指定されており，毎年，小学校と中学校の教科書について「教科書展示会」を開催しています。平成 27 年度は下記の通りの開催となります。

この展示会では，7 月～8 月にかけて，学校で使用する教科書を決定する「教科書採択」を前に，現職の先生方を含め，広く一般の方々が，実際に採択にかけられる教科書（見本本）を，直接見ることができます。この期間中は，展示する教科書は貸出禁止にしています。展示会に来られた方に，確実に見本本を見ていただけるようにするためです。

教科書展示会は毎年この時期の開催です。教科書や教科学習に対する理解や関心を深め，選定や調査研究に役立てる機会としてください。

愛媛大学では，展示会以外の時期は，教科書も他の開架図書と同様に貸出をし，3 階の西側，3F-1 閲覧室に配架しています。どうぞご利用ください。

記

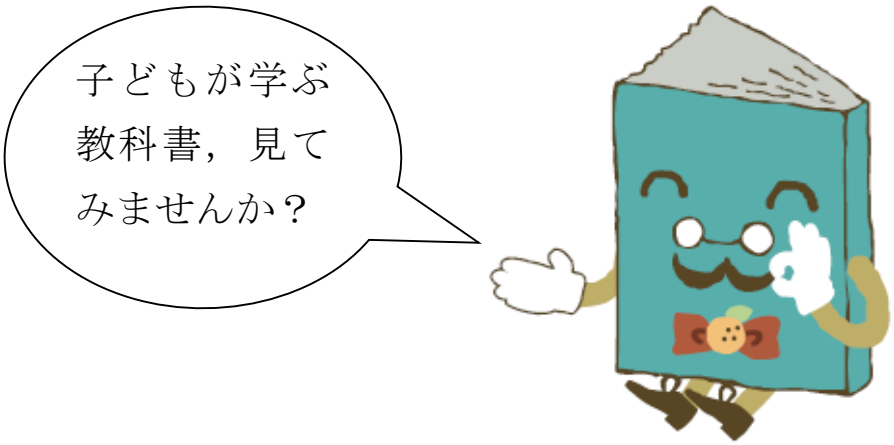
■ 展示資料：小・中学校教科書（平成 28 年度使用）見本

■ 展示期間：6 月 19 日(金) ～7 月 2 日（木）14 日間

月曜日～金曜日　　9：00 ～ 22：00

土曜日～日曜日　　9：30 ～ 17：00

■場所：中央図書館 2 階



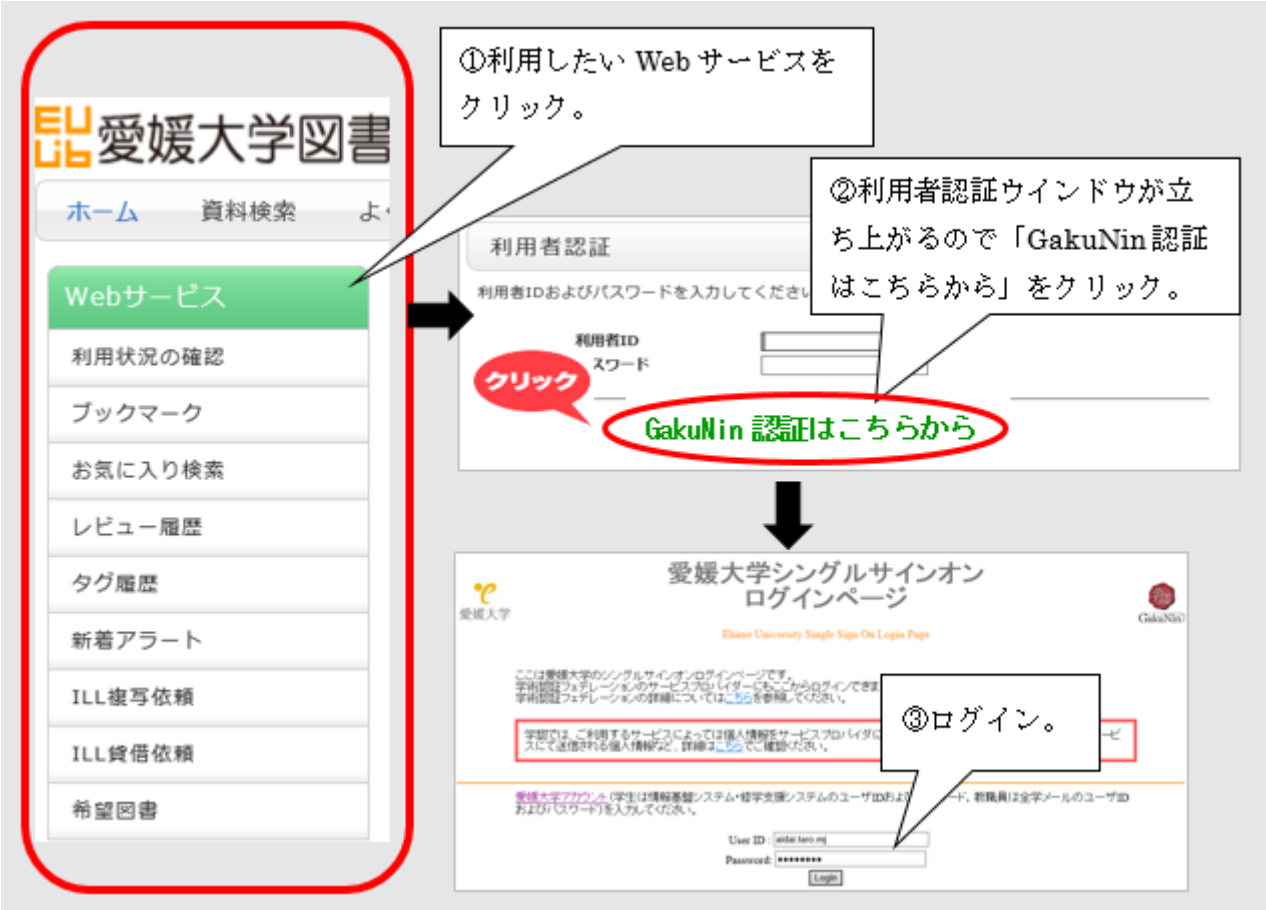
OPAC（蔵書検索）の GakuNin ログイン方法

GakuNin ログインとは，愛媛大学アカウント（学生は情報基盤システム・修学支援システムのユーザ ID，教職員は全学メールのユーザ ID）で OPAC にログインすることです。

OPAC での蔵書検索は誰でもできますが，さらに便利な WEB サービス機能を使いたいならログインされることをお勧めします。

GakuNin 認証でのログイン方法は，以下のとおり。図書館への利用登録は不要です。

【OPAC（蔵書検索)HP】



ログインすると，以下の機能が利用できます。

- 利用状況の確認
- ブックマーク（ウェブ上に資料リストを作成する機能）
- 貸出中の図書の予約
- 新着アラート（検索条件に合う図書等が入荷すると，メールや RSS で配信する機能）
- 文献の取り寄せ（公費の場合は，別途要登録）etc.

IYOKAN(愛媛地区共同リポジトリ)をご存じですか？

IYOKAN(愛媛地区共同リポジトリ)とは？

IYOKAN は，愛媛県内の大学等による共同の機関リポジトリ※です。

『学術情報を管理し発信する電子書庫』の役割を果たしています。平成 23 年 4 月から運用を開始し，愛媛県内の他の大学等のコンテンツも含め，インターネットで無償公開しています。

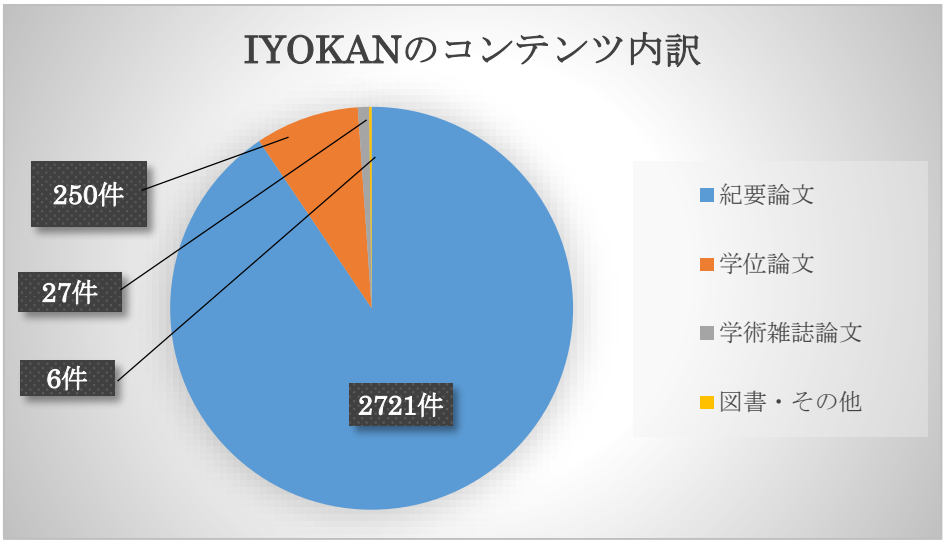
※機関リポジトリ：大学や研究機関が主体となって所属研究者の知的生産物を電子的に収集，蓄積，提供するシステム，またそのサービス

（日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編，「図書館情報学用語辞典」丸善出版，2013 年，P. 45）

【愛媛大学図書館 HP】

登録できるコンテンツは？

雑誌掲載論文，紀要，単行書の原稿，学位論文，科学研究費補助金成果報告書，会議記録，フィールドワークの VTR，学会発表スライド，学生向けテキスト・教材など多岐にわたりメディアの種類を問いません。（文書，写真，映像，音楽，スライドなど OK）



（H27/6/23 現在）

登録のメリットは？

●研究の意義や内容を広くアピール
●論文の被引用率アップ
●絶版や資料紛失の心配がない
などなど・・・

オープンアクセス推進の動き

学術研究成果を誰もが無料でオンライン利用できるようにすることを目指す，世界的な動きがあり，オープンアクセスに対する社会的関心の高まりや，その促進を後押しする政策・制度の策定が近年続いています。具体的には・・・

・学位規則の改正により，H25 年度から博士論文をインターネットにより公表することが義務づけられました。
・H26 年度分から文部科学省科学研究費補助金の実績報告書に，成果論文のオープンアクセス化の有無を報告するチェック欄が設けられました。
など

これらオープンアクセス化の手段のひとつとして示されているのが

「機関リポジトリ」 です。

これまで「機関リポジトリ」に馴染みのなかった学生のみなさん。
この機会に是非 IYOKAN をのぞいてみてくださいね！
こちらです↓
http://iyokan.lib.ehime-u.ac.jp/dspace/

そして，教職員・大学院生のみならず学部学生のみなさんからのコンテンツのご提供もお待ちしております。
コンテンツご提供時には「リポジトリ登録申請・公開許諾書」※を以下の図書館担当者までご提出ください。著作権の確認についてのご相談にも応じます。
※こちらからダウンロードできます。
http://www.lib.ehime-u.ac.jp/IR/

リポジトリに関するお問合せ先
図書館事務課学術情報チーム（中央図書館 2F 西）
電話番号：089-927-8841（内線：8841・8842）
E-mail　：dspace@lib.ehime-u.ac.jp

学位論文（博士論文）の利用方法について

愛媛大学の学位論文（博士論文）の利用方法が変わりました。以下の Q&A をご確認ください。

Q　愛媛大学の，ある学位論文を全文閲覧したいのですが？

A　愛媛地区共同リポジトリ IYOKAN（http://iyokan.lib.ehime-u.ac.jp/dspace/）で全文を公開している場合がございます。まずはこちらで検索の上，ご確認ください。

※IYOKAN の使い方はこちら（http://iyokan.lib.ehime-u.ac.jp/dspace/help/index.html）

Q　IYOKAN では本文の要約しか公開されていなかった…全文閲覧するには？

A　IYOKAN で公開していないものは，図書館内で閲覧可能です。ただし，対象と年代により閲覧方法が異なります。以下の表をご確認ください。各学位論文は，該当所蔵場所 / 閲覧場所で全文ご利用いただけます。いずれも館外貸出不可です。

紙媒体　電子媒体

対象学位論文	学位授与年月	媒体	所蔵場所 / 閲覧場所
理工学研究科	H25 年 3 月以前	紙媒体	中央図書館　書庫 1 層
	H25 年 4 月以降	電子媒体	中央図書館　2 階カウンター
医学系研究科	H26 年 3 月以前	紙媒体	医学部分館　2 階閲覧室
	H26 年 4 月以降	電子媒体	中央図書館　2 階カウンター 医学部分館　1 階カウンター
連合農学研究科	H25 年 3 月以前	紙媒体	農学部分館　1 階閲覧室
	H25 年 4 月以降	電子媒体	中央図書館　2 階カウンター 農学部分館　1 階カウンター

【閲覧可能時間】

紙媒体：開館時間中（中央図書館：延長開館時間を除く）

電子媒体：平日 9:00-12:00, 13:00-17:00　※カウンターで要手続

Q　複写（プリントアウト）したいのですが？

A　原則複写不可です。但し，学位論文著者の複写許可書（様式自由）をご持参の場合は複写可能です。料金についてはこちらをご確認ください。（http://www.lib.ehime-u.ac.jp/RIYO/#copy）

Q　その他の閲覧方法はありますか？

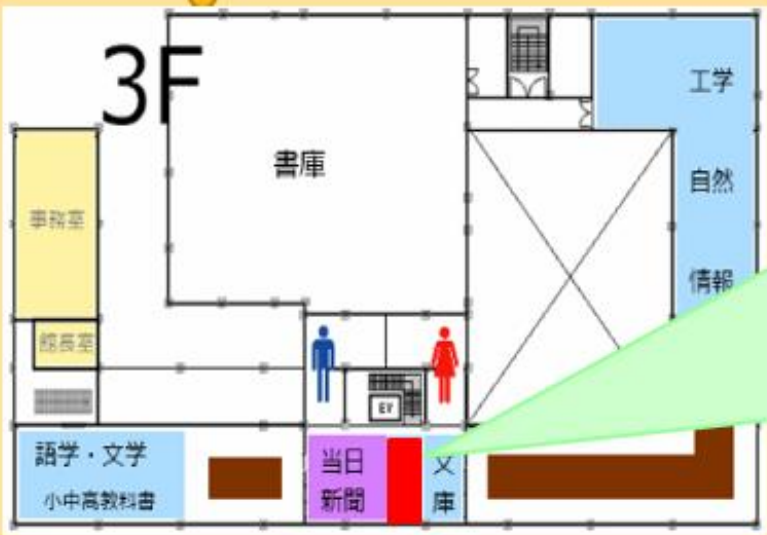
A　日本の博士論文を検索できる，「CiNii Dissertations」（http://ci.nii.ac.jp/d/?l=ja）というデータベースが試験運用中です。検索結果から，各大学の機関リポジトリや国立国会図書館デジタルコレクションのアイコンをたどって，論文全文を閲覧できる場合もあります。その他，「JAIRO（学術機関リポジトリポータル）」（http://jairo.nii.ac.jp/）でも検索可能です。

【CiNii Dissertations】- 日本の博士論文を探す

高大連携図書コーナー設置のご案内

中央図書館および農学部分館に
高大連携図書コーナーを設置しました。

中央図書館



農学部分館

ぜひ、ご活用ください。

中央図書館からのお知らせ

照明の節電について

今年の３月から，天気が良く明るい日には，3F1 閲覧室，3F２閲覧室，4F1 閲覧室について，南の窓側の照明を，節電のため，16 時まで消灯しております。

読書や学習をする際に十分な照度(７００ルクス)は確保しておりますが，手元が暗いと感じられた場合には，2F カウンターまでお声をおかけください。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

医学部分館からのお知らせ

機器類，貸出できます

プロジェクター

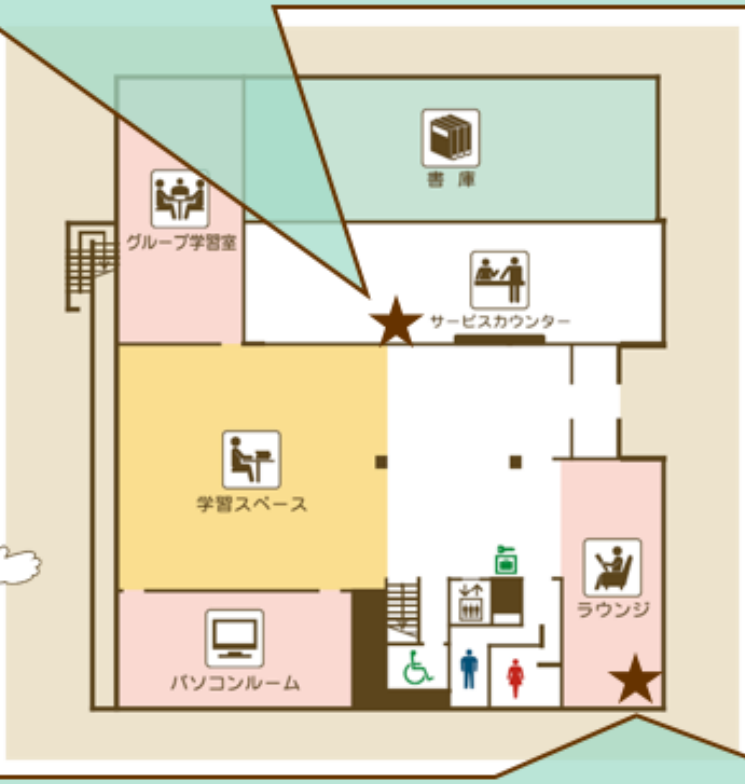
電源タップ

ヘッドフォン

イヤホン分配器

指示棒

学内者限定，館内利用のみです。
ご利用希望の方は，１階カウンターにて手続きをお願いします。



1F

自動販売機，設置しました

蓋付き飲料専用自動販売機を設置しました。
ぜひご利用ください。

図書館日誌	
12 月 18 日	平成 26 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会「ワークショップ」「実務者会議」(鳥取大学) ～19 日
22 日	平成 26 年度第 2 回図書館委員会
2 月 6 日	平成 26 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会　(岡山大学)
27 日	機関リポジトリ新任担当者研修 (岡山大学)
3 月 10 日	「米山と蘇山 I －愛媛大学ミュージアム改修工事完成記念展－」　～8 月 3 日
23 日	平成 26 年度第 3 回図書館委員会
25 日	平成 26 年度第 3 回医学部図書情報委員会
4 月 1 日	医学部分館 飲料自動販売機 稼働開始
16 日	第 63 回中国四国地区大学図書館協議会総会 (サンポートホール高松)
17 日	第 42 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (サンポートホール高松)
21 日	第 6 回教育 IT ソリューション EXPO (東京ビッグサイト)
23 日	JAIRO Cloud の今後の運用モデルと利用料金に関する説明・懇談会　(福岡朝日ビル)
30 日	愛媛大学経営情報分析室第 1 回電子ジャーナルに関するワーキング
6 月 17 日	平成 27 年度第 1 回図書館委員会 ブックハンティング ～19 日
18 日	第 62 回国立大学図書館協会総会　(ホテルニューオータニ熊本) ブックハンティング (医学部) ～19 日
19 日	国立大学図書館協会第 11 回マネージメント・セミナー　(ホテルニューオータニ熊本) 平成 27 年度教科書展示会　～7 月 2 日
23 日	平成 27 年度第 1 回農学部分館運営委員会
24 日	平成 27 年度第 1 回医学部図書情報委員会

愛媛大学図書館「図書館だより」第 98 号　2015 年 7 月 1 日発行
編集：館報編集委員会
発行：愛媛大学図書館　〒790－8577 松山市文京町 3 番　TEL (089)927－8845